

平成二十四年度 狭山台小学校 第一学期

終業式 校長の言葉

セミの鳴き声も聞こえ始め、いよいよ夏本番を迎えた今日、転入生も含め、五百七十一名の皆さんが、無事に一学期を終えることができました。一学期は、七十四日間の登校日がありました。この間、大きな交通事故も、何日も入院するような大変な病気もなく、児童の皆さんも、そして、先生方も、元気に過ごすことができたことは、とてもすばらしいことです。校長先生は、とてもうれしいです。

一学期は、「挨拶・歌声・学び合いの声が響く狭山台小学校」をつくるために、特に、「挨拶と歌声」に力を入れてきました。登校の時の「おはようございます。」の挨拶や授業の始めと終わりの挨拶が上手になってきました。また、音楽室や体育館に、歌声が響くようになりましした。朝の会や帰りの会でも歌声が聞こえるようになりましした。そんな明るいきわ

やかなみどりの風が吹く狭山台小学校で、皆さんは、「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」を目指して、一生懸命頑張ってきたことと思います。

一年生。給食やお掃除の仕方を覚え、先生のお話をしっかりと聞けるようになりました。届く声であいさつをしてくれるので、一年生の教室に入ると元気になります。

二年生。忍者になったように跳び箱やマットで体を鍛え、どの教室からも明るい歌声が響いていました。ザリガニの絵も上手でした。

三年生。自習がとっても上手で、お客様からも誰もいないようだと褒められています。自分の考えをはっきり言い、音読がとっても上手でした。

四年生。昨日の賞状伝達の時の返事は立派でした。お互いに跳んでいる様子をアドバイスしながら、励まし合ってペットボトルハイドルを走り抜けていました。

五年生。初めての宿泊学習でしたが、集団

生活の楽しさとルールを守る大切さを学びました。お手伝いを頼むと喜んで取り組んでくれました。自分の考えを教室で出し合い、学び合いができていました。先日教室を訪問すると、「いじめ」についても、先生と真剣に話し合っている姿に出会い、感動しました。

六年生。バスケットボール大会では、力を十分に発揮するとともに、狭山台小学校の最高学年として、マナーも、話を聞く態度も、大変すばらしいものでした。社会科見学では、自分たちでバスレクを考え、自主的に活動する姿も見られました。

けやき学級さん。暑さに負けず、毎日朝マラソンをして、きれいなこと・つらいことから逃げずに、力をつけていました。「はい。何々です。」としっかりお話する姿勢は、ぜひ、全校の皆さんに真似してもらいたいです。

昨日は、全校の皆さんに「いじめ」についてお話し、自分がしなければならぬことについて一生懸命考えいもらいました。校長先

生もそれに応えて、一生懸命読みました。これからも、いじめを「しない させない 許さない」学校にしていきたいと思います。

さて、明日からは四十四日間の夏休みです。狭山台小学校のみなさんが、安全で楽しい夏休みを過ごせるよう、交通事故や不審者、時には雷に十分気を付けてください。また、困ったことやいやなことがあったら、学校や担任の先生に相談してください。

それでは、九月三日に、全員、元気に会いましょう。

平成二十四年七月二十日

狭山市立狭山台小学校長 小俣 恵美子